

# おくたま 町議会だより



168号

平成26年2月5日  
発行 奥多摩町議会  
電話 (0428)83-2111

## 平成25年12月1日 議会の構成がかわりました

①

副議長  
師岡伸公

議長  
前田悦男

### 就任にあたって

昨年は12月1日より、各議員が所属する委員会、及びその正副委員長等の議会構成がかわり、私ども前田悦男、師岡伸公が正副議長に就任いたしました。微力ではありますが、その使命を果たしてまいります。

町政においては、懸案でありました下水道事業、ゴミの共同処理を行う西秋川衛生組合、及び秋川流域斎場組合への加入を始めとする、多くの重要な事業が順調に進行できたことは、町や町民にとって誠に喜ばしいこととであります。

これは、長年の努力が東京都や近隣の自治体に理解され、ご協力をいただいた結果であり、改めて関係者皆様に感謝申し上げます。

今後も、町民皆様の期待に添えるよう、議員活動を通して、より良い町づくりのために努力してまいります。

## 第2回臨時町議会

11月29日、第2回臨時会が召集され、正副議長の選挙をはじめ、各常任委員会委員、一部事務組合議会議員の選任等、次のとおり決定しました。

◎委員長 ○副委員長

(常任委員会等)

総務文教常任委員会

◎酒井 正利 ○高橋 邦男

宮野 亨 村木 征一

竹内 和男 前田 悦男

経済厚生常任委員会

◎須崎 眞 ○杉村 良一

石田 芳英 原島 幸次

師岡 伸公 清水 典子

議会運営委員会

◎清水 典子 ○宮野 亨

原島 幸次 師岡 伸公

酒井 正利 須崎 眞

下水道事業特別委員会

◎村木 征一 ○竹内 和男

石田 芳英 高橋 邦男

杉村 良一 酒井 正利

(一部事務組合議会他)

秋川衛生組合議会議員

宮野 亨 師岡 伸公

清水 典子

西秋川衛生組合議会議員

原島 幸次 杉村 良一

須崎 眞

秋川流域斎場組合議会議員

高橋 邦男 酒井 正利

三多摩上下水及び道路建設促進協議会委員

理事 前田 悦男

第1委員会(上水)

高橋 邦男

第2委員会(下水)

村木 征一

第3委員会(道路建設)

原島 幸次

三鷹・立川間立体化複々線促進協議会委員

多摩都市モノレール等建設促進協議会委員

酒井 正利 前田 悦男

前田 悦男

首都圏中央連絡道路建設促進協議会委員

前田 悦男

多摩川南岸道路建設促進協議会委員

◎村木 征一 ○竹内 和男

石田 芳英 宮野 亨

高橋 邦男 原島 幸次

杉村 良一

◎師岡 伸公 石田 芳英

宮野 亨 高橋 邦男

杉村 良一

議会だより編集委員会委員

師岡 伸公 石田 芳英

宮野 亨 高橋 邦男

表彰審査委員会委員

師岡 伸公 酒井 正利

須崎 眞 前田 悦男

青少年問題協議会委員

宮野 亨 師岡 伸公

酒井 正利

下水道事業運営委員会委員

村木 征一 須崎 眞

健康づくり推進協議会委員

石田 芳英

国民健康保険運営協議会委員

須崎 眞

環境審議会委員

高橋 邦男 師岡 伸公

酒井 正利

小口事業資金融資制度等審議会委員

石田 芳英 宮野 亨

杉村 良一

消防団員等公務災害給与金支給審査委員会委員

原島 幸次 村木 征一

清水 典子

西多摩地域広域行政圏協議会審議会委員

師岡 伸公 酒井 正利  
前田 悦男

三か町村議会議員広域連絡協議会委員

全議員(◎前田 悦男)

青梅商工会議所顧問  
大多摩観光連盟参与

前田 悦男

奥多摩・檜原間林道鋸山線改修  
都道編入促進協議会委員

宮野 亨 原島 幸次  
師岡 伸公 酒井 正利  
竹内 和男 清水 典子  
前田 悦男

国道139号松姫トンネル建設  
促進連絡協議会委員

師岡 伸公 須崎 眞  
前田 悦男

今後2年間、以上の構成で町の諸課題に取り組んでいきます。

### 町長提出議案と結果

次の議案が提出され、全議員の賛成により原案のとおり可決されました。

#### ○議案第76号

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

### 第4回定例町議会

第4回定例会は、12月10日から17日までの会期8日間に行われ開催されました。

### 町長提出議案と結果

次の議案が提出され、全議員の賛成によりいずれも原案のとおり可決されました。

### 条 例 等

#### ○議案第77号

町税賦課徴収条例の一部を改正する条例

#### ○議案第78号

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

#### ○議案第79号

下水道条例の一部を改正する条例

#### ○議案第80号

非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

#### ○議案第81号

職員の分限に関する条例

#### ○議案第82号

東京都市町村議会議員公務災害補償等組合理約の一部を改正する規約

#### ○議案第83号

東京都市町村職員退職手当組合理約の一部を改正する規約

#### ○議案第84号

東京都市町村公平委員会共同設置規約の一部を改正する規約

### 補 正 予 算

#### ○議案第85号

一般会計(第2号)

#### ○議案第86号

都民の森管理運営事業特別会計(第2号)

#### ○議案第87号

山のふるさと村管理運営事業特別会計(第2号)

#### ○議案第88号

国民健康保険特別会計(第2号)

#### ○議案第89号

下水道事業特別会計(第2号)

#### ○議案第90号

国民健康保険病院事業会計(第1号)

#### 工事請負契約

#### ○議案第91号

名坂線林道開設工事請負契約の変更について

陳情の取り扱い

趣旨採択としたもの

○陳情第2号

介護保険制度に関する陳情書

議員提出議案（意見書の提出）

次の議案が提出され、いずれも全議員の賛成により原案どおり可決されました。また、議員提出議案第3号では、国に対し意見書が提出されました。

○議員提出議案第2号

会議規則の一部を改正する規則

○議員提出議案第3号

地方法人特別税及び地方法人特別譲与税の撤廃と住民法人税の一部国税化に断固反対する意見書

一般質問

25年12月議会では、13日の2日目に7名の議員が質問を行いました。（通告順）

石田芳英議員

民間活力・地域活力向上のための行政施策について

（答）様々なかたちで民間や地域の活力向上を図っている。パブリック・コメントは積極的に採り入れている

石田 ①「民間活力」、「地域活力」についての施策の現況は

②町における「パブリック・コメント制度」実施の状況について

町長 ①現在、観光施設を中心として18施設の管理運営を民間にお願いしており、身近なまちづくり事業では、地域活力向

上に向け補助金を支出している。また、文化団体連盟や体育協会、各種団体やボランティア団体への補助活動や委託の発注等、様々なかたちで住民皆様の活動を支援し、地域力の向上を図っている。

②第4期長期総合計画の策定、地域保健福祉計画、高齢者支援計画等、町の基本的な政策の策定にあたり、パブリック・コメントの手続きを取ってきた。現在策定作業を進めている第5期長期総合計画についても、積極的にパブリック・コメントを行っていききたい。

公用電気自動車の採用と給電設備の設置について

（答）現段階での導入は難しい。導入コストや電気スタンドの整備等、現時点での課題が解決されるのを待ちたい

石田 環境に対して非常に重要である。必要性について町ではどう考えているか

町長 町の環境保全活動をアピールするには有効な手段であるが、電気自動車の走行距離や導入コスト、給電設備の設置費用等を考慮すると、現段階での導入は難しいと考えている。今後、技術革新が進み、導入コストや充電スタンドの整備等の課題が解決された際には採用を検討したい。

高橋邦男議員

「出会いの場ふれ愛サポートセンター」の運営について

（答）若者の出会いをサポートすべく、この10月1日から運営を開始した

高橋 ①運営方法と業務内容は  
②事業運営における民の役割は  
③センター登録に対して、どのような働きかけを行っていくのか  
④11月末時点での登録状況は

町長 ①この10月1日から運営を開始した。さわやかな出会いをキャッチフレーズに、交流イベントを通じて若者の出会いの場の創出を図っていく。

②おせっかい支援員として、当面は民生・児童委員の皆様をお願いすべく検討している。

③10月5日号の広報に掲載したが、全世帯に利用申請書を兼ねたチラシも配布した。町のホームページにも同様に掲載した。  
④現在までに町内在住の男性4名、女性2名の方が登録している。

**都水道局の民有林購入事業について**

.....  
(答) 事業区域の拡大に向け、積極的に働きかけをしていきたい

高橋 ①事業の対象地域を、町全体に広げる働きかけができないか②事業に対する町の考えは

町長 ①平成25年度からは多摩川と日原川の合流点より上流域まで対象区域が拡大されたが、さらなる事業区域の拡大については、事業の応募状況を見ながら検討していきたいとのことである。

②土砂の流出や土石流の危険性が増してきていること等、山林の荒廃は憂慮すべきものと考えている。よって、対象区域の拡大に努め水道水源林として適切に維持管理していただけるよう、積極的に働きかけをしていきたい。

**原島幸次議員**

**氷川キャンプ場入口の観光トイレの改築について**

.....  
(答) 平成26年度の公共下水道供用開始に合わせ、利用実態に見合った新しい施設を整備する予定である

原島 建築後22年が経過して

おり老朽化が進んでいる。だれでもトイレの設置を希望するが、改築の考えはあるのか

町長 観光用公衆トイレは、観光立町の町にふさわしい整備が必要であると考えている。キャンプ場入口のトイレについては、公共下水道の供用開始に合わせ、平成26年度に施設規模、便器数等を確定したうえで、洋式便座、だれでもトイレを配置した新棟を整備する予定である。

**師岡伸公議員**

**現代の参勤交代論と奥多摩について**

.....  
(答) 当町にとって、将来的に有効な施策であると考えている

師岡 ①来たるべき大震災期に備えて田舎に避難地(第2の親類)を作っておきたいがどうか  
②市民農園を地方に作ることで食糧自給の手法を確立する効果

を期待するが③空家の有効活用によりSOHO(スモール・ホームオフィス)の展開が可能になる④地産材の活用により地域に貢献でき、耐震機能を持たせることで都会の家にも機能を持たせる気づきを与えることができる⑤これら施策により、地方経済の振興が期待できる

町長 ①⑤当町においても、海沢地区に体験農園を開設しており、これも二地域居住のひとつの形態であるが、利用者と海沢ふれあい農園運営委員会を組織する海沢地域の住民皆様が交流、連携し、地域の活性化等に成果を上げている。ほかに、空家や耕作放棄地等の活用等、様々な問題の解決の糸口として、二地域居住による方々との連携を考えていくことも有効な方法だと考えられる。現在、第5期長期総合計画の策定作業を進めているところであり、まちづくり計画検討委員の方々にも、議論していただきたいと考えている。

**小丹波地区における若者定住化対策と生活道の整備について**

・ ・ ・ ・ ・  
(答) 平成26年度から、生活道等の整備に向け事業を着手していく

**師岡** ①古里駅周辺に住宅建設と生活道の整備は②高畑天神林線と竹ノ平中線の今後の整備計画は

**町長** ①住宅地として立地条件がよく、公共機関が充実しており、買い物物の利便性にも優れた地域であるため、生活道や下水道等の生活基盤を整備することで、新たな住宅建設適地が生まれ、民間の住宅整備を誘導し、町が実施する若者定住化のための宅地開発が可能となってくる。

②高畑天神林線(注1)は、地権者から測量、立ち入りの承諾をいただいております。平成26年度中に予備測量設計を実施する。竹ノ平中線(注2)は今年度中に予備測量設計を行い、平成26年度には地権者の方々に対して全体

説明を行い、事業化できるよう取り組んでいく。

注1 高畑天神林線  
古里の西地区線路上部を東側に進む道路。

注2 竹ノ平中線  
古里駅上部西側から東側に進む道路。

**竹内和男議員**

**奥多摩町の防災対策について**

・ ・ ・ ・ ・  
(答) 災害時職員対応マニュアル検討プロジェクトを設置し、今後の対応を検討していく。災害に強い林道整備を計画していく

**竹内** 自然災害発生時の防災対策とライフラインとしての林道の活用は

**町長** 町で策定している地域防災計画には、風水害時の職員の出勤態勢基準が明確に規定されていないため、災害時職員対応

マニュアル検討プロジェクトを設置し、被害を防ぐための確認、点検内容を定めた「タイムライン」を作成する等、対応に当たっていく。

災害時における林道の活用については、極めて厳しい状況である。理由として、林道のほとんどが袋小路で構造物(石積み等)の整備が充実していない路線が大半であるためである。今後は新規格路線、及び改良工事を計画するうえで、効果的な林業経営、森林の適正維持管理を行い、生活道としての機能、並びに災害時にも対応できる整備計画を検討、計画していく。

**杉村良一議員**

**土石流、土砂崩れ災害対策について**

・ ・ ・ ・ ・  
(答) 避難勧告等を躊躇することなく発表するとともに、地域とも連携し、災害弱者の避難、誘導に努めて行く

**杉村** ①避難の判断基準のマニュアル整備が必要と思われるが、②お年寄りや障がい者を誰が、どのような避難させるのかを明確化しておく必要があるのでは

**町長** ①地域防災計画には事前避難、避難勧告・指示、避難誘導についての伝達、行動内容等が示されていないので、明確な基準を整備する必要性があると考えている。今後、気象庁や東京都からの情報を元に、災害の発生が予想されるときには、自主避難の呼びかけ、避難勧告等を躊躇することなく決断して発表し、住民皆様の安全を確保していく。

②平成25年6月に災害対策基本法が改正され、高齢者や障がい者等の避難行動要支援者名簿の作成が市町村に義務付けられた。合せて名簿作成に際し個人情報を利用できること、個人の同意を条件として消防関係者や民生委員等に情報提供できると、災害発生時には同意の有無にかかわらず名簿情報を関係機

関に提供できること等が規定された。よって、今後は町で名簿を作成し、有事に備えることとなった。現在、承諾をいただきたい方には、そのデータを民生・児童委員に渡し、見守りをお願いしている。また、町においては災害時要援護者等管理台帳システムを導入し、運用に向け準備作業を進めている。このシステムを活用し、迅速かつ確実に弱者といわれる方々の避難、誘導に努めていく。

宮野 亨 議員

要援護者の支援体制について

（答） 要援護者の支援に向け、着実に事業を進めているところである

宮野 ①要援護者の避難をどのように支援するのか②各自自治体との連携はどのようにしていくか③要援護者の名簿作成の進捗状況は

町長 ①災害時要援護者等管理台帳システムを活用し、迅速かつ確実に弱者といわれる方々の避難、誘導に努めていく。

②③平成8年3月に、島しよを除く東京都内市町村の市町村長の協議により、相互応援に関する協定を締結している。また、西多摩地区の8市町村では消防団の消防相互応援協定書を締結し、災害の防止、鎮圧、及び被害の軽減を図っているとある。山梨県の丹波山村、小菅村とも同様の措置をとっている。なお、災害発生時のより実効性の高い医療救護活動体制を整備するため、西多摩保健医療圏地域災害医療連携会議を立ち上げ、災害拠点病院と地域の医療機関、警察、消防、保健所、及び市町村等の実効性のある情報ネットワークを確立するための検討を始めている。

伸光さんお任せカット

町議会だよりの一般質問欄では、紙面の制約から、質問に対する最初の町長の答弁までを掲載しています。この後、再質問が行われ、更に踏み込んだ内容の質疑が行われています。出来上がりは後日になります。が、全部の質疑内容が掲載された会議録を図書館に置きますので、ご覧ください。また、議会開会中は、各日も傍聴を受け付けていますので、傍聴を希望される方は、当日午前10時までに議会事務局までお越しください。

②が入る

11 月

- 1日 下水道事業運営委員会
- 3日 功労者表彰式
- 農林産物品評会
- 5日 西多摩地区議長会研修会
- 6日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会（以下「三水協」）第3委員会
- 7日 後期高齢者広域連合議案説明会
- 9日 都民の森開設20周年記念式典
- 10日 加藤旗争奪駅伝大会
- 13日 町村議会議長全国大会
- 14日 西多摩地域広域行政圏協議会体育大会総合開会式兼前夜祭
- 15日 火災予防業務協力者表彰式
- 16日 福祉大会
- 18日 北京市友好議員団歓迎会
- 19日 北京市友好議員団来町
- 21日 大多摩観光連盟臨時総会
- 22日 城山トンネル見学会
- 23日 奥多摩消防署総合震災訓練
- 26日 西秋川衛生組合全員協議会
- 29日 第2回臨時町議会
- 30日 交通安全表彰式

12月

13日 成人の日の式

14日 三水協第1委員会正副委員長会

議

16日 西多摩地区議長会賀詞交歓会

17日 後期高齢者広域連合議案説明会

20日 体育協会新年会

21日 三水協第1委員会

22日 青梅防犯協会新年会

23日 議会だより編集委員会

三多摩地区消防運営協議会第2

部会

24日 西多摩郡町村議会議長会臨時総

会

30日 三水協第2委員会

31日 青梅交通安全協会理事新年会

## 編集後記

議会を傍聴しませんか

傍聴席から見た議場

新しい年を迎えました。皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

年始、大河ドラマ「軍師官兵衛」の一場面です。官兵衛の幼少時代、病弱な母のため、薬草を摘みに黒田家の宿敵赤松領内に入る官兵衛。父親は危険を覚悟で敵の大將から息子を取り戻す。これを知った母親は息子を「万吉（幼名）、お前は

議場内写真

この家の嫡男です。お前一人で生きていくのではないのです」と一心不乱に薬草を採りに行った息子を叱り諭しました。

人に迷惑をかけた事を理由に感謝しつつ泣きながら息子を叩く。「万吉、真直ぐにいけるのです。母はずっとあなたを見守っていますからね」母親は他界するが、その

の思いを胸に官兵衛は剣術や勉学に励む、母親は厳しさの中に優しさがある、そんな話でした。時代こそ違え、子育て、教育のひとつこまを感じました。

昨年12月に議会の構成がかわり、新しい議会だより編集委員となり

後期2年間を担当しますので、よろしく願います。

(師岡 伸公)

石田 芳英

宮野 亨

高橋 邦男

杉村 良一

2日 後期高齢者広域連合保険料説明会

3日 議会運営委員会

グリーンウッド奥多摩改修完成

披露式典

4日 身体障害者福祉協会忘年会

6日 奥多摩交番落成式

10日 第4回定例会(第1日)

11日 連合審査会

経済厚生常任委員会

13日 第4回定例会(第2日)

14日 こども議会

17日 第4回定例会(第3日)

歳末たすけあい・地域福祉募金

配分会

18日 西秋川衛生組合新炉火入れ式

1月

6日 役場仕事始め式

8日 青梅商工会議所賀詞交歓会

西多摩地区議長会賀詞交歓会

9日 町賀詞交歓会

11日 柔道稽古始め式

青梅警察署武道始め式

12日 消防団出初式



1ページ①に入れる

皆様のご支援を

お願い申し上げます

7ページの②に入れる

議  
会  
日  
誌